

2014年日本移民学会ワークショップ 移民と向き合う宗教 —「多文化共生」を实践する信仰者たち—

共催:「宗教と社会」学会「現代社会における移民と宗教」プロジェクト

【ワークショップ趣旨】

難民・移住者・移動者たちを広義の「移民」と見なした場合、日本国内のそうした人びとへの支援は「多文化共生」という言葉で語られてきた。しかしながら、行政による公的サポートは、今なおごく限定されたものであることは周知の通りである。そのような制度の狭間に置かれがちな移民たちを、物心の両面から支えてきた重要なアクターの1つが、宗教組織もしくは宗教者たちであった。本ワークショップでは日本において移民と向き合ってきた宗教の「現場」の声を聞き、その成果と課題を学ぶことによって、今後の研究者たちとの協働の可能性を模索してみたい。

日時:2014年11月8日(土)・9日(日)

会場:東洋大学白山キャンパス

(最寄駅:都営地下鉄三田線白山駅、東京メトロ南北線本駒込駅)

○プログラム

11月8日 14:00-17:30 第1部 シンポジウム「宗教と「多文化共生」の实践」

登壇者:

マツウラ・デ・ビスカルド篤子氏(カトリック大阪大司教区社会活動センター シナピス)

牧野兼三氏(カパティラン)

鈴木克治氏(立正佼成会 IBC(国際仏教教会))

コメンテータ:白波瀬達也氏(関西学院大学)

司会:高橋典史(東洋大学)

* 第1部終了後に懇親会を予定しています

11月9日 10:00-13:00 第2部「研究者による動向紹介とディスカッション」

登壇者および発表内容:

野上恵美氏(神戸大学大学院)「在日ベトナム人と宗教」

永田貴聖氏(立命館大学)「在日フィリピン人と宗教」

星野壮氏(大正大学)「デカセギと宗教」

川崎のぞみ氏(筑波大学大学院)「日本のムスリム」

コメンテータ:荻野剛史氏(東洋大学)

司会:高橋典史(東洋大学)

11月9日 15:00-17:00ごろ 第3部 見学会(近隣の宗教施設など)

○参加方法:要事前申込

* Eメールにてお申し込みください。1日のみの参加も可能です。

【お問い合わせ先】 高橋典史(東洋大学社会学部) E-mail: takahashi021@toyo.jp

ワークショップの参加申込方法

○下記の事項を書き添えてEメールにてお申し込み下さい

・記入事項

(1)お名前、ご所属、ご連絡先(メールアドレス等)

(2)参加を希望するプログラム

11月8日(土):第1部(参加/不参加)懇親会(参加/不参加)

懇親会費は4,000円程度を予定しています

11月9日(日):第2部(参加/不参加)見学会(参加/不参加)

・申込先メールアドレス: takahashi021@toyo.jp (高橋典史)

・申込締切: **2014年10月20日(月)**

* 当日の会場(東洋大学白山キャンパス内)および見学会(同キャンパス周辺を予定)の詳細につきましては、お申し込みされた方々に別途ご連絡いたします。



【お問い合わせ先】

高橋典史(東洋大学社会学部)

E-mail: takahashi021@toyo.jp

電話: 090-9312-8638

「現代社会における移民と宗教」プロジェクト

<http://iminsyukyo.blog.shinobi.jp/>